

令和3年度 第1回松田町総合計画審議会に係る意見書対応方針

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
1	全般				令和2年度の評価等については、令和2年度の委員達の評価結果を基に、令和3年度の委員に案内すべき。 今までの経緯（状況）が不明のため、各事業のご意見等は控えさせていただきます。 総合計画は、継続的な内容のため、余程の事情が無い限り、委員は変えるべきでは無い。	ご意見のとおり、総合計画は継続的な内容となっています。そのため、任期到来に伴う委員の推薦依頼においては、各団体に対し、これまで委員を務めていただいている方を中心に検討をお願いしました。	政策推進課
2	全般				進捗状況集計は、令和2年度の目標値に対し、実績値を対比させる。この集計では、単にやりましたしかない。 令和3年度事業内容に具体的な目標値が無いので進捗度合いが不明になる。 例) 事業内容：〇〇〇 目標値：令和3年度中 動員数10名 これを書けなければ真剣に取り組んでいない。	具体的な目標値については、資料4の目標指標達成状況シートにて進捗度合いを確認しています。 「令和3年度事業内容」についても、より具体的に記載していきます。	政策推進課
3	全般				文書をづらづら書くと意味（意図）がつかめない、箇所書きにする。	町民にとって分かりやすい資料となるよう、明瞭かつ簡潔に記載していきます。	政策推進課
4	全般				意見対応方針での町の考え方に具体性が無く、抽象的で実際面がわからないため、結果の信憑性を欠く。	「意見対応方針」についても、より具体的に記載していきます。	政策推進課
5	全般				各種事業の推進おつかれ様です。 今年度より審議会委員となり、ここまで幅広く展開している事におどろきました。裏を返せば、やはり周知出来ていないと思います。 又、これだけの資料を見やすくまとめて頂きありがとうございます。 個人的ではありますが、字の羅列では何を指しているのか分かりにくかったです。 新松田駅周辺の整備等は、どういう形を目指しているのが画像、計画像があると、前後比較が出来、住民も進捗を実感しやすいと思います。	町民にとって分かりやすい資料となるよう、明瞭かつ簡潔に記載していきます。 新松田駅周辺の整備等における目指す形については、「新松田駅周辺整備基本構想・基本計画」をご確認いただくようお願いいたします。事業に進捗があった場合については、本審議会においても、適宜、報告いたします。	政策推進課 まちづくり課
6	全般	総合計画審議会について 資料配布について			今回もコロナ禍の最中ということで書面審査という形になったが、本来、対面実施することにより各委員の意見もリアルタイムに拝聴でき、審議の効果が上がるはずである。次回はぜひ対面での審議をお願いしたい。 担当職員が変更したにも関わらず、資料内容などに大きな変化がなくスムーズな引きつぎにより、継続性が維持されているのに感謝する。	労いのお言葉ありがとうございます。 次回審議会の実施方法については、新型コロナウイルスの状況を見極め、検討させていただきます。	政策推進課

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
7	健康・福祉	成人保健対策：特定検診等	資料2-1	1～2ページ	<p>町の特定検診、高齢者検診などはきめ細かく対応して下さり感謝しているが、実際には受診に来ない人がおり、受診率を上げるのが課題となっているとある。殆ど無料で実施しているのに、受診に来ない人はなぜ来ないのか？</p> <p>受診率を上げるためにどのような方法を取っていくのか教えてほしい。</p>	<p>国民健康保険に加入している40～74歳の方を対象とした特定健診、75歳以上を対象として高齢者健診を集団健診、施設健診として実施しています。令和2年度より国保ヘルスアップ事業を活用し、特定健診の申し込みのない方に対しこれまでの受診歴からグループ分けした受診勧奨通知を発送する事業を実施しました。それにより、新たな受診者の掘り起こしができました。</p> <p>年齢が上がるにつれて、何かしらの疾患で治療をされている方は、治療のための血液検査等を実施しており、健診を受けるまでには至ってないところもあるように感じられます。治療中の疾患以外の病気の早期発見のための健診の重要性を普及啓発していくことが必要と考えます。</p>	子育て健康課
8	健康・福祉	感染症対策事業：新型コロナ対策	資料2-1	2ページ	<p>松田町の新型コロナ対策は、都市圏、周辺自治体に比べて進んでいて感謝している。ただ、町HPでの情報発信が遅れている印象を持っている。特にワクチン接種の時には個人の電話やネットでの予約に任されていて、大混乱した。HPで〇〇医院は〇〇%済とか、集団接種所は〇〇%の予約済などリアルタイムに情報発信していただくと高齢者は助かったはずだ。</p> <p>また、一人暮らしの高齢者にはワクチン接種の案内、予約および接種サービスはどのように行われたのか知りたい。</p>	<p>ワクチン接種予約開始当初は、町内個別医療機関において予約が殺到し、集団接種会場の予約においても電話がつながりにくいなど、ご迷惑をおかけいたしました。接種開始以降は、個別医療機関及び集団接種会場において、当初の予定数から予約枠を増やして接種ペースを上げていただいたため80%以上の高齢者の接種が終了しました。</p> <p>一人暮らしなど社協や福祉課でかかわっているケースについては、予約の支援を行いました。</p>	子育て健康課
9	健康・福祉	地域包括支援センター機能の強化 高齢者福祉	資料2-1	4ページ 6ページ	<p>松田町も高齢化が進んでおり、独居高齢者が増えていて、包括支援センターの役割はますます重要になってきている。高齢者本人、自治会、民生委員と支援センターが関係を密に図ってほしい。認知症者のサポートなど大変とは思いますがよろしくお願いたします。</p>	<p>地域共生社会の実現に向け、地域包括ケアシステムの充実のために、当センターと高齢者及び自治会等の関係機関の連携は必要不可欠と考えています。引き続き情報を共有しながら関係機関と密な連携を図り、認知症の高齢者などのサポートも併せて行ってまいります。</p>	福祉課
10	健康・福祉	児童福祉	資料2-1	5ページ	<p>フードバンクが報徳会館で実施されていると聞いているが、松田町にはフードバンクにお世話になっている人、子供たちはいるのか？</p>	<p>5月より報徳食品支援センターご協力のもと、フードバンクを実施しています。ご利用いただいている方の中には、子育て世帯の方もおります。</p>	福祉課

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
11	健康・福祉	地域包括ケアシステム構築 障がい者の社会参加支援の促進	資料2-1	7ページ	<p>精神障がい者の就労移行支援について、もっと広報して欲しいです。情報が少ないと思います。（自立支援医療受給者証を申請した方でお困りの方、不安をかかえている方が多くいると思います。）</p> <p>また、「親なきあと」にどのような福祉のつながりを持ってほしいのかなど、どのような方法があるのか講演などあるといいと思います。知る機会を作って欲しいです。</p>	<p>自立支援受給者証交付者やサービス利用者など不安を抱えておられる方については、コミュニケーションを図り、寄り添うように相談に乗り、お困りごとや不安感の解消に努めています。その方一人ひとり状況が違いますので、将来のことなど本人の意向に沿えるよう関係機関と連絡を密にしております。今後も、ご指摘いただきました、広報や講演会などの周知活動を行い、不安の解消などに努めてまいります。</p>	福祉課
12	教育・文化	町立幼稚園、小学校の適正規模、配置のあり方検討委員会の設置	資料2-2	1ページ	<p>あり方検討委員会の設置は行われず協議とあるが、実際に学校や幼稚園に在学在園している家庭、これから入園入学する家庭の意向、意見を大切にしていきたい。</p> <p>中学の時とはちがった見方、考え方があると思う。</p> <p>経済面だけではない部分、子どもたちが負担なく楽しく生活できる場の保証をしていただきたい。</p> <p>保護者がなう部分にも配慮いただきたい。</p> <p>3年度町民アンケートとあるが、その内容と集計の方法、その後の検討の方法についても、結果ありきの形だけのものにならないようにしていきたい。</p> <p>中学の時の経験をぜひ活かし、見切発車、あとづけの言い訳にならないよう強く望みます。</p>	<p>平成28年9月「町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方について」では、「幼稚園、小学校は、現状のまま存続するのが望ましいが、町立中学校統合後3年を経過して時点で改めて検証を行い、必要に応じて対応する」と示されております。</p> <p>このため、町教育委員会では、令和2年度から「あり方」について検討を行っており、令和3年7月27日開催した町総合教育会議で、保育園、幼稚園、小・中学校の保護者を対象としたアンケートを9月下旬に実施することとなりました。</p> <p>なお、アンケート内容は、町総合計画で進めている「幼児教育及び学校教育の実施状況」、「町立幼稚園、小学校の今後のあり方」をお尋ねする予定です。</p> <p>また、「あり方検討委員会」につきましては、保護者からのアンケート結果やご意見を考慮して設置の有無を検討するなど、丁寧に進めてまいります。</p>	教育課
13	教育・文化	町立幼稚園、小学校の適正規模、配置のあり方検討委員会の設置	資料2-2	1ページ	<p>寄地区の幼稚園・小学校の適正規模、配置の在り方について、教育委員会で議論しているとのことだが、この項目から想像できるのは、人口減少に伴い、寄中学校に続いて寄小学校も廃校にする検討をしているような印象を受けるが、地域から小学校が無くなることはその地域が一挙に衰退することにつながってしまう。これは教育委員会などの機関だけで議論する内容ではなく、松田町全体の在り方と密接に関係する問題なので、住民基本条例に基づき情報の公平性、透明性を重視し、一般住民、特に寄住民への周知に留意して頂きたい。</p>	<p>平成28年9月「町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方について」では、「幼稚園、小学校は、現状のまま存続するのが望ましいが、町立中学校統合後3年を経過して時点で改めて検証を行い、必要に応じて対応する」と示されております。</p> <p>このため、町教育委員会では、令和2年度から「あり方」について検討を行っており、令和3年7月27日開催した町総合教育会議で、保育園、幼稚園、小・中学校の保護者を対象としたアンケートを9月下旬に実施することとなりました。</p> <p>従いまして、教育委員会で議論しているのは統合ありきの議論ではなく、町民の皆さまのご意見を伺うものであり、今後の方向性における判断の参考とさせていただきますので、丁寧に進めてまいります。</p> <p>ご意見のとおり、公平性、透明性を保つため、協議した内容や予定は、町広報やホームページでお知らせしますので、ご理解をお願いします。</p>	教育課

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
14	教育・文化	松田小学校建設事業	資料2-2	2ページ	<p>松田町小学校の建設が順調に進んでいることと思います。建設の進捗状況は町広報や議会だよりで一部知ることができませんが、全体的にどうなっているのかを、コロナ禍の収まってきたと思われる、9月以降に町民公開集会を開いてお知らせした方が良いと思う。</p>	<p>令和3年7月17日（土）に町民向けの見学会を開催し、約100人が参加し、新たな町のシンボルとなる校舎に期待を寄せていました。</p> <p>ご意見のありましたとおり、進捗状況は、町広報、議会だより、ホームページで随時お知らせしておりますが、町民への説明会についても、コロナ禍の状況を確認し、開催を考えております。</p>	教育課
15	教育・文化	ICT教育指導者研修	資料2-2	2ページ	<p>オンライン学習を実践した経験をいかしてとあるが、はたして有意義なオンライン学習だったかという部分の検証からしていただきたい。</p> <p>相方向でのオンライン学習を実践する予定とあるが、ハード面も含めて実現可能な内容を考えていただきたい。</p> <p>学校で行われる授業（対面のもの）と同じ感覚でとりくめるようなシステムを希望します。</p> <p>子どもの自主性に期待するような内容ではなく、発信する側からのチェックがしっかり及ぶような双方向でのオンラインの実現に期待します。</p>	<p>オンライン学習の実践結果について、実際に使用した児童・生徒及び教員の感想や評価を確認や、改善点を洗い出すなど、検証してまいります。</p> <p>また、町では、国が推奨する「GIGAスクール構想」により、小学1年生から中学3年生までの児童生徒1人1台のタブレット端末を配備し、通信設備を強化するなどオンライン学習ができる環境を整えてまいりました。</p> <p>今後は、様々な理由により登校できない児童生徒のためにもオンライン学習を実践するなど、学びの保障ができるよう職員研修や実践事例を充実させていきます。</p>	教育課
16	教育・文化	学校における環境教育の推進	資料2-2	3ページ	<p>SDGsを教育の場で教えて、子供たちにもできる範囲で実践させていくことは重要だと考えます。松田町が「SDGs未来都市」に選定されましたので、意識して教育の場に取り込んでいって欲しいと思います。</p>	<p>学校教育にSDGsを取り込むことについてですが、次世代を担う子ども達に質の高い教育を保障することが最も重要になります。</p> <p>幼稚園教育と学校教育のあらゆる教育活動がSDGsの理念に繋がるものですが、「確かな学力の育成」「豊かな心や創造性の涵養」「健やかな心身の育成」ができるよう積極的に取り組んでおります。</p> <p>今後も引き続き町の教育を推し進めていくとともに、教育効果をさらに上げていくためにSDGsについて、意識して教育現場で取組ができるよう、周知を図ってまいります。</p>	教育課
17	教育・文化	連携の仕組みづくり	資料2-2	4ページ	<p>「放課後子供教室」の制度が無くなると聞いています。学童保育と一体化することになるのか、新たな取り組みを考えるのか、教えてください。</p>	<p>ご意見のとおり、国では、放課後児童クラブ（学童保育）と放課後子ども教室の一体型・連携型の実施を目指しておりますが、それぞれの事業そのものがなくなるものではないと承知しております。</p> <p>今後も次代を担う人材を育成するため、就学児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うように取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。</p>	教育課

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
18	教育・文化	2. 青少年健全育成以下3. 4.	資料2-2	4～6ページ	<p>青少年健全育成以下最後のページまで、「事業総合評価」が全部Cとなっているが、これは他の部局の評価との整合性は取れているのか。まず、何故Cなのか、残り2年（実質1年半）でBレベルに持っていけるのか？</p> <p>コロナ禍で、予定していたことが進まなかったのは分かるが、私は、もう少し各項目ごとにメリハリをつけて自己評価してもいいと思っているが。</p>	<p>ご指摘のとおり、令和2年度についてはコロナ禍により事業展開が進まなかった状況において「C」とさせていただきましたが、今後、目標達成に向けてその時々々の状況を踏まえた事業展開を図ります。</p>	教育課
19	教育・文化	3. 生涯学習	資料2-2	5ページ	<p>この大項目のどこかに、「町民文化センター」と「公民館」を合体した「松田町生涯学習センター」が発足したことを、すでに条例も改正し議会の審議を受けているので、大きく説明したらどうか？ この文章中にも「生涯学習サポートセンター」という単語や「町民文化センター」「公民館」が混在しているのは紛らわしい。すでに町民には「松田町生涯学習センター」愛称募集の回覧板が令和3年2月に回っている。少なくとも令和3年度における事業内容は、「松田町生涯学習センター」の名前に統一して記載したらどうか。</p>	<p>令和3年4月から町民の生涯学習の拠点として活性化を図るため、「松田町生涯学習センター」として新たなスタートをし、町広報7月号で説明させていただきました。ご意見のとおり、今後は、「松田町生涯学習センター」という名称で統一していきますが、しばらくの間は、カッコ書きで（旧松田町町民文化センター）と併記します。</p> <p>愛称につきましては、町民にとって親しみやすく、身近に感じていただけるよう募集を行ったところであり、このたび「青空ベース」と決定しましたので、今後、周知を図ってまいります。</p>	教育課
20	教育・文化	施設整備事業	資料2-2	6ページ	<p>生涯学習センター入口手すりの設置の件。雨天時等すべりやすい入口の改善にはよいと思います。ですが2本は必要だったか？避難所として利用する時の入口としては、車も直接つけられず、本来なら入口にもう少し張り出した屋根が欲しいところです。</p>	<p>手すり設置につきましては、利き手や車椅子の往来など想定した中で整備をさせていただきました。</p> <p>ご意見につきましては、今後、必要箇所の改修、修繕の参考とさせていただきます。</p>	教育課
21	経済・産業	ヤマビル対策の推進	資料2-3	1ページ	<p>ヤマビル対策は農業従事者のみならず、寄地区の観光推進に重要な意味を持つので、力を入れて実施していただきたい。今回のヤマビル忌避剤がどの程度の効果があるのか？市販の効果があると謳われているヤマビルファイターでもそれ程効果あると思えない時がある。近隣3町との協議会で、駆除に効果ある方法、防御に効果ある方法など総合的に対策方法の研究、議論を進めてほしい。</p>	<p>忌避剤を使用すれば被害は確実に軽減されますが、金銭面の負担も大きいので、対応策として不十分であることは承知しています。ただ、ヤマビルの問題は町単独で対策することに限界があるため、県に対して広域で対応すべき事案として要望してきたところです。しかしながら、これまで実現に至っておらず、大井町・中井町と連携し研究等を進めることにいたしました。今後は3町の連携を足掛かりに、協力体制を広げていきたいと考えています。</p>	観光経済課

施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課	
22	経済・産業	農業委員会との連携による、農地バトロールの実施と荒廃農地対策	資料2-3	2ページ	寄地区には農地となっているが数年間人が入っておらず、雑木林化が進んで鳥獣の住みかとなっているところが沢山ある。ここを農地に戻すのは人手の関係もあり無理ならば、山林に地目変更して、山林整備をするボランティアなどを募る仕組みを作ったかどうか。	ここ数年の耕作放棄地の急増で、全国的にも非農地判断が進められており、松田町においても実態を把握し、対応を検討しているところです。しかしながら、山林の保全も全国的な問題となっており、地目変更されれば土地の適正な管理が進むとは安易に考えられないところもあります。農政担当としては、まずは農地を保全することに注力するところですが、現実も踏まえて、安全が確保されることを最重要とし、対応を考えます。	観光経済課
23	経済・産業	水源の森林づくり事業の推進 地域水源林整備事業の推進	資料2-3	2ページ	同じような内容が細目2（水源の森林づくり事業）と3（地域水源林整備事業）に分けられているように見える。私有地の整備とは所有者が県と協定林などの協定を結んでいる所を、森林組合、林業者が入札で入って作業したことを指すのか？町として積極的に関与した内容があるのなら、教えてほしい。	細目の分けは、県における水源環境保全事業の種別によるもので、「水源の森林づくり事業」は県で定めた水源の森林エリア内で実施される県主導の私有林整備事業であり、「地域水源林整備事業」は水源の森林エリアから外れた地域の私有林を町が主導して整備するものです。 近年、施業範囲はあまり増えていませんが、森林環境譲与税などを活用しながら、手の入っていない森林の所有者に意向を確認し、間伐等の整備に繋がりたいと考えているところです。	観光経済課
24	経済・産業	木質バイオマス事業化の推進	資料2-3	2ページ	具体的な事業構想までは進んだが、その後の実践の部分が遅れたのは残念であった。本事業は県西地区の先鞭をつけるモデル事業として近隣市町村が注目している。森林の保全と地球温暖化防止、環境問題としても重要なので、「SDGs未来都市」と「ゼロカーボン・シティ宣言」とも結びつけ着実に進めていただきたい。	木質バイオマス事業は、森林保全、二酸化炭素の排出量の削減、エネルギーの地産地消による経済の活性化など複数の地域課題を解決する取組であり、SDGsの目標達成及び2050年カーボンニュートラルの実現に向けた町の重点施策です。スキームの早期の実装に向け、引き続き事業を推進してまいります。	環境上下水道課
25	経済・産業	商工業の経営の安定化	資料2-3	3ページ	令和2年度及び令和3年度は新型コロナの影響で飲食店などの経営不振が心配されたが、国や県の補助制度を使う事例はあったのか？	事業所ごとによる国や県の補助制度利用状況について、町には情報が提供されません。しかしながら、国の持続化給付金の補助条件から外れた事業所を対象とした町の支援金制度の利用状況を見ると、相当数の事業所が国の持続化給付金を取得したものと想定はされます。今後も商工会の申請支援状況など、共有できる情報は提供していただき、実態把握に努めたいと考えています。	観光経済課
26	経済・産業	コスモス館等での地元農産物の消費拡大の支援	資料2-3	3ページ	四季ごとなど売っているもの、売っている方などの広報を定期的にして欲しいです。置いてある加工品の情報なども。	ご提案、ありがとうございます。町広報紙に「地産地消の会」という民間団体の販促となる広告を掲載することはできませんが、その月にどのような産物が並ぶかを紹介することは問題ないと思われますので、定期的に掲載できるよう、調整いたします。	観光経済課

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
27	経済・産業	雇用、就労の支援	資料2-3	4ページ	コロナ禍で失業した若者や主婦、勤労者がいたものと思われるが、町としてその実態は把握できる仕組みになっているのか？ 施策は打たれているが利用が少ないのは何故か？ 周知が不十分なのか、利用する上での障害があるのか、十分に検証して、改善するところがあったら積極的に改善してほしい。	町の労政担当においては、リアルタイムで町内（町民）の失業状況を把握する術を持ち合わせておりません。 なお、勤労者を対象とした生活資金融資制度の利用が低調なのは、社会情勢の変化や民間の融資制度との差別化などを図れてこなかったものと分析しています。その点を踏まえ、今年度に大幅な制度改正を行いましたので、1～2年は経過を見たいと考えているところです。	観光経済課
28	経済・産業	3. 観光の振興：全般	資料2-3	4ページ	各細目にわたって細かく施策が上がっていてそれなりに準備はされたとは思うが、コロナ禍でイベントなどの開催ができなかったのは残念だったと思う。「1. 観光協会組織化への支援」で観光協会に多額な補助金が計上されていて、大きな事業はできなかったと思うのだが、そのような場合には、補助金の支給はどうなるのか、参考までに教えていただきたい。	補助対象とした事業費のうち、イベントの中止などによる未執行分については実績に応じて精算（減額）しています。	観光経済課
29	暮らし・基盤	新松田駅南口駅前広場等整備 新松田駅北口周辺整備	資料2-4	2ページ	地権者の想いに耳を傾けながらも松田町の玄関口としての駅開発に地道な取り組みを続けて頂けたらありがたい。	今後も事業に理解を得られるよう説明し、地権者との交渉を進めてまいります。	まちづくり課
30	暮らし・基盤	新松田駅南口駅前広場等整備 新松田駅北口周辺整備	資料2-4	2ページ	本取組については第6次総合計画の目玉ともいうべきものです。町民アンケートからも第一の要望として挙げられ、審議会においてもまちづくり戦略の優先順位のトップとして決定されました。議会にも通り、スタートした取組ですが、ここにきて中断という知らせ。議会では財政面についても考慮し、承認されたはずですが。議会の承認責任は明示されたのでしょうか？このままではなし崩し的にこの事業は消滅することは目にみえています。町民の落胆、松田町の停滞は、いや衰退は火をみるより明らかです。町を活性化させる事業として再度、復活することを願います。	議会に理解を得られるよう事業の必要性を説明していきます。	まちづくり課
31	暮らし・基盤	新松田駅北口周辺整備	資料2-4	2ページ	新松田駅の北口整備は、松田町民の長年の願いであり、第6次総合計画の目玉の一つになっている事業である。最近の町広報と町議会の「議会だより」だけでは、町民に何が問題で、令和3年度に事業が止まってしまったのかわかりにくい。第5次総合計画、第6次総合計画での町民アンケートで寄せられた町民の期待が行政と議会の意見の食い違いによって事業が止まることは松田町の将来に大きな禍根を残すことになる。単に一時停止したで済む問題ではない。町が実質的に負担する予算などが正しく議論されたか疑問である。至急、町行政側と議会側から町民に向けての(書面だけでなく公開の)説明会を開くことが重要である。検討をお願いする。	議会に理解を得られるよう事業の必要性を説明していきます。	まちづくり課

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
32	暮らし・基盤	路線バスの運行維持対策 効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の推進	資料2-4	3ページ	通学定期的負担割合の変更について、町で2/3の負担をしていただいていることについては、とてもありがたく思います。また、減便対策についても、これ以上減便にならないよう継続を希望します。	バス事業者は運転手不足やコロナ禍により厳しい経営状況となっており、令和2年度においても、一部減便となりました。 今後も引き続き、バス交通主要3施策を推進し、バス路線の確保・維持及び利便性の向上を図るとともに、持続可能な公共交通の実現に向け、新たな交通施策の実施などを検討してまいります。 また、バス事業者をはじめ、関係機関等に対し、引き続き路線の整備や運行本数の維持などについて要望してまいります。	政策推進課
33	暮らし・基盤	路線バスの運行維持対策 効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の推進	資料2-4	3ページ	コロナ禍で寄線の乗客が減ってバス会社の収益が落ちていて、町が支援金を出して支援しているのは知っている。寄地区はこれからますます高齢化して自分で車を運転する人が減ってくるのは予測できる。その時に頼りにするのが公共交通機関である。バス会社に引き続き路線の運行を続けて頂くことをお願いすると並行して、町としての住民サービスも研究しておいた方がよい。寄地域に多くのお客を呼べる観光のイベントを増やし、臨時バスを増加するなどの工夫も考えた方がよい。令和3年6月に、神奈川県のやどりき水源林でのイベントで水源林ゲートまで路線延長バスを出して頂いたことがある。このようなケースはバス会社にもお客様にとってのwin-winの関係となる。このような機会を増やす工夫が必要だと思うがいかがか。	前項対応方針のとおり、引き続き施策の推進や新たな交通施策の実施などの検討、関係機関に対する路線の整備や運行本数の維持などに係る要望を行ってまいります。 寄地域の観光イベントにつきましては、現在取り組んでいる着地型観光事業・農泊推進事業を推進し、臨時バスの増加につながる大規模イベントの開催なども検討してまいります。	政策推進課 観光経済課
34	暮らし・基盤	2. 経営の健全化	資料2-4	4ページ	この項目は「水道使用料適正化の検討」と「経営の健全化」を含むが、前者は評価Dで、後者はAとなっているが、本来細目の立て方からして後者の内容に審議会の料金の適正化が含まれるのが普通に思える。 審議会の人選が難航して審議会が開けないのは、水道行政(経営)が健全でないことにならないか？ なぜ、人選に難航しているのか？	委員募集を広報・ホームページで行っていましたが、毎回応募者がいない状況でした。今年度も同様でありましたが、現在、個別に有識者をお願いをして開催するように計画しております。	環境上下水道課
35	自然・環境	2. 環境対策	資料2-5	1ページ	松田町は令和3年4月に「ゼロカーボン・シティ宣言」を行い、5月には環境対策を含む「SDGs未来都市」の選定を受けた。県西地区では環境問題に力を入れている環境先進都市としての責任と立場がついてくる。国の施策にもうたわれている2030年の脱炭素、2050年にゼロカーボンに向けて、松田町でも方針を決めていく必要がある。町の再生可能エネルギー協議会がこのところ開かれていない。早く懸案を解決して協議会を再開し、町の環境対策ビジョン策定に取り掛かって欲しい。上記内容が「1. 地球温暖化対策実行計画の推進」の令和3年度の事業内容に含まれるべきではないか？	令和3年度における事業内容に記載されている地球温暖化対策実行計画の更新にあたっては、再生可能エネルギー協議会を開催し、内容の検討及び調整を行った上で、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた町の方針を含む、エネルギー施策の総合的なビジョンとして策定する予定です。	環境上下水道課

施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
36 自然・環境	4. 公園・緑地	資料2-5	2ページ	3、子供の館～6、ふるさと鉄道まで、松田町では唯一外部から観光客を呼べる西平畑公園の整備を担当する施設管理者が決まっていないというが、何故、決まらないのか。魅力がないからか？ 募集が遅れているからか？ 施設管理者に頼るのではなく、町営で進める覚悟で、他の公立公園経営で成果を上げている公園の研究をしてみたらどうか？ 令和3年度の方向性がC1というのはいかがなものか。	施設管理者（指定管理者）については平成29年度、令和元年度に募集をしました。事業者からの応募はありませんでした。 事業者からご意見を伺うと「現在の料金体系では収入増加を見込める要素がない」ことが応募に至らない理由であることから、料金体系の整備を現在進めているところです。 西平畑公園の活性化については、公園全体や周辺観光施設が連携し、一体的にサービスを提供することが必要であると考えており、町の直営では及ぶことができない効率的な運営、魅力的なサービスを提供することを目指し、民間のノウハウを導入することを考えています。	観光経済課
37 自然・環境	消防の連携強化	資料2-5	3ページ	令和2年度事業内容・実績をみると、小田原市消防本部との連携が図られたと明記されているが、具体的には、どのような内容の連携であったのかを示して頂けたらと思う。併せて令和3年度の内容にも連携の検討とあるが、どの分野の検討をするのかも示して頂けるとありがたい。	令和2年度は、コロナ禍で各種訓練・行事等が中止になる中で、会議の意見交換、恒常業務を通じて密な連携を図りました。令和3年度も同様ですが、特に消防本部の火災予防体制強化事業について寄与できるように検討します。	安全防災担当室
38 自然・環境	5. 消防・救急	資料2-5	3ページ	安全防犯担当職員が一生懸命対応している様子が伺えます。町に予算が潤沢にないため、インフラ関係にお金が回っていない様子が分かります。町全体で優先順位を決め対応していただきたいと思えます。	防災は、ハードとソフトの両輪で強化を図ります。安全防災担当室ではハザードマップ教育、計画等のソフト整備をしています。インフラ整備は防災だけではなく普段の安全安心な生活を考慮し、優先順位を検討していきます。	安全防災担当室
39 自然・環境	関係機関との連携強化と新たな防災協定の締結	資料2-5	3ページ	富士山ハザードマップの改定を踏まえると、今後は想定外をできるだけ最小にする意味からも近隣2市5町との協定だけでなく、被害が想定されていない他の都県との協定も視野に入れて進めていくことが望ましいと考える。	富士山溶岩流に関する避難先は協定とは関係なく、県や協議会と連携して避難先の指名を進めています。ただし、噴火に関する被災は、土石流や降灰など複合的に生じますので、今後他県を含め協定を検討します。	安全防災担当室
40 自然・環境	6. 防災対策：1. 防災体制の充実	資料2-5	3ページ	各種マニュアルの整備は進んだのは分かりますが、実際の災害時に対応できるかが課題だと思えます。各部門の訓練をはじめ、防災訓練で災害時に備えることが重要です。よろしくお願いたします。	実際の災害に対応するため作るのが計画であり訓練です。各種計画等の整備、その内容の周知。そして訓練。この3つをもって対応できるものと考えます。また、一人一人の災害に対する心構えや準備が最も大切だと考えます。	安全防災担当室
41 自然・環境	地域での高齢者や障がい児者の災害時避難等の支援	資料2-5	4ページ	具体化することを期待しています。たとえば社協のささえあいサービスの様な支援者ボランティアの掘りおこしや必要性の周知をして欲しいです。自治会ごとのマニュアル化をすすめて欲しい。	本年度に自主防災会に地区防災計画の作成を依頼しています。その計画に支え合いマップというものがあります。組や自主防災会で要配慮者を掌握し支援するものです。少しでもこの取組みを進めて頂きたいと考えています。	安全防災担当室

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
42	自然・環境	生活用水用井戸の確保	資料2-5	4ページ	数年前から自宅などに自分で井戸を掘る人が増えていると聞きます。これから井戸を掘る方について何か支援等お考えがありますか？	現段階では支援は考えておりませんが、防災に関する様々なご意見をお待ちしています。	安全防災担当室
43	自然・環境	消防の連携強化	資料3-1-1	2ページ	足柄上郡内の各消防団との連携が不十分だとこの事であるが、前回（令和2年度第2回松田町総合計画審議会）の「推進確認シート」においても同様の事が書かれており、進展していない様に思われます。 災害を身近で意識する問題として迅速に連携強化してもらい、内容を示してもらいたい。	基本的には、林野火災が発生した場合の対処を具体化する必要があります。林野火災は、初動を誤ると数カ所の自治体を跨ぐ大規模かつ長期化する災害となります。町のニーズの具体化、各町本団との意見交換等近隣町との相互の応援体制に関して検討していきます。	安全防災担当室
44	自然・環境	関係機関との連携強化と新たな防災協定の締結	資料3-1-1	2ページ	これも上記と同様である。即調整にかかり、前倒して協定を締結する様求めます。（10年前とは状況が大きく変わってきている）	関係機関との連携強化を計画的に進めて行きます。当面は10年以上前に締結した内容の改善を図るため、協定書の再提案を実施しています。この際、協定先と町のニーズがお互いに成り立つような相互支援協定を追求します。	安全防災担当室
45	自然・環境	地域での高齢者や障がい児者の災害時避難等の支援	資料3-1-1	2ページ	戸別受信機の配布については対応に感謝しております。しかし、具体的支援に係る計画内容が不足しているとの事であり、早急に関係団体等と調整し、具体化を示して下さい。想定した訓練も必要となりますので。	要配慮者の支援は町全体で対応する必要があります。自治会等近隣住民の方、民生委員、町役場が一体となり、避難先、移動手段、支援者等を個別に具体化する必要があります。一気に解決する問題ではないので、一人づつでも進める必要性があります。	安全防災担当室
46	実行手段	2. コミュニティ活動に対する支援	資料2-6	1ページ	令和2年～3年にかけて新型コロナ感染の防止が最優先の課題であり、各自治会で行事が自治会の考え方により縮小されたものと思われるが、コミュニティ形成や地域コミュニケーションにとってマイナスであったことは否定できない。町も自助・共助・公助の中で自治会活動の共助を重んじるならば、公助の立場から、各自治会の活動を把握してコミュニケーション不足に陥っている自治会には適切な指導をお願いしたい。	自治会活動については、地域コミュニティ活動交付金の実績報告にて把握していますが、コロナ禍での活動状況に差が生じていることもあり、今後、活動可否の判断に関する助言や、自治会間の情報共有、好事例の紹介を促進します。	総務課
47	実行手段	1. 協働のまちづくりの推進	資料2-6	1～2ページ	松田町には多くの有能な人材が隠れていると思われる。人材バンクで本人からの応募だけでなく、口コミでもそのような人を探し出し登録を願い、必要なところで有識者(委員会、審議会、出前授業、など)として活動してもらおう場を提供したらいかがでしょうか。	生涯学習センターのオープンにかかり、これまで設置していた「生涯学習サポートセンターはじめの一歩」と相通じる制度となる部分があります。当面の間、生涯学習の面を主とした展開を考えておりますので、教育委員会で制度構築を進め、準備が整いましたら周知をさせていただいたうえで、運用を進めていきます。 ご意見のありましたとおり、本人からの応募のみでなく、様々な方法で登録をしていただくため、周知、募集の方法を考えてまいります。	教育課

	施策分野	取組名称	資料番号	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
48	実行手段	審議会における女性の登用促進	資料2-6	2ページ	従前からの充て職からの選任だと、男性が多くなるのは当然。各団体のリーダーが女性になっていかないと難しいですね。更生保護女性会や社協のボランティア団体、寄のあい染めやロウバイ会など（年代が上の方が多くですが）まずは、女性がメインの団体を加えてみるのはいかがでしょうか？もっと気軽に参加できるような広報も必要だと思います。	御意見ありがとうございます。 各種審議会での女性の登用が進むよう、町男女共同参画プランの目標値をPDCAサイクルで管理します。 具体的には、各審議会を所管する所属課への情報共有や働きかけを通じ、女性団体の参加等の促進に努めるとともに、必要な周知を行ってまいります。	定住少子化担当室
49	実行手段	女性が輝き活躍できるまちづくりの推進	資料2-6	2ページ	女性が輝き活躍できるまちづくりとは具体的にどんな姿を想像しているのでしょうか。 実現はむずかしいですが、必ずやらなければいけない内容だと思います。 具体的な姿、現状、比較し、足りない部分をどうしていくかを明確にし今後も推進して下さい。	御意見ありがとうございます。 目指す具体像は、「女性が自由に生き方を選択し、各自が自分らしく、生きがいを持って暮らせるよう、出産-育児-介護にかけて、女性の一生を支える」環境を構築すること考えます。 その一環として、松田町創生推進拠点施設を整備し、当該施設を核として事業(環境整備)を推進しております。 課題として、施設の認知度向上や女性の社会進出(雇用・就業)に関する部分があり、子育て環境等の充実のPRなど、広報も活用しながら、対応してまいります。	定住少子化担当室
50	実行手段	町有地等の利活用の促進	資料2-6	3ページ	町有地が競争入札で売却され町の収入源になっているのは結構だが、入札前、入札後の経緯の透明性の確保は重要である。売却後も業者任せにはせず、行政指導の形でフォローする体制を維持していただきたい。	御意見ありがとうございます。 町有地の売却については、必要な手続き等を公開の上、実施しており、現在、町から事業者への所有権の移転が完了しております。 今後の開発協議等の中で、必要によっては、事業者に対し、助言・指導等を行政より行ってまいります。	定住少子化担当室